



地震が起こるまでに備えておくこと

4月14日(木)に発生した平成28年熊本地震では、震度7を含む大地震が多発。建物が倒壊し、多くの尊い命が失われ、現在も避難所で暮らしている人が大勢います。香南市でも南海トラフ大地震が起これば、津波被害も含め今回の震災以上の被害が想定されます。震災に対しては「準備しすぎ」という言葉はありません。自らの命を守るため何をしておくべきか今一度見直しておきましょう。

防災のススメ

「もしも」に備えを!

「揺れに強い家」は「命を守る!」

地震が発生し強い揺れが起こると、家具などが転倒します。倒れた家具などに体をはさまれてしまうと抜け出せなくなる危険があります。器具などで固定し、強い揺れが起こっても確実に避難ができるように備えておきましょう。

また建築基準法が変わった昭和56年5月以前に建築された住宅は、それ以後のものより大地震で倒壊する可能性が高いため、まずは耐震診断を実施しましょう。



市では耐震をサポートするさまざまな補助金を用意しています。詳しくは6月号でご紹介します。

地震が発生!まずは「命を守る行動」を!

大きな揺れを感じたら、揺れによる落下物から頭を守るため、テーブルなどに身をかくし、揺れが収まるのを待ちましょう。いきなり外に出ることは危険です。



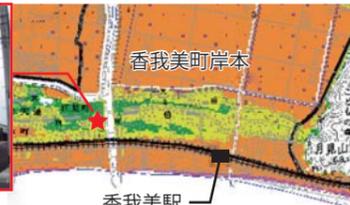
非常用持ち出し袋を用意しておきましょう

災害発生時には、数分の行動の遅れが命を左右します。非常用持ち出し袋を構えて、ラジオ、懐中電灯、数日分の水と食糧など、緊急避難時に必要なものを入れておきましょう。また、家庭や事業所での備蓄も大切です。



新しい津波避難タワーが完成しました!

香我美町岸本に完成!



場所を覚えておいてね!



-新津波避難タワー情報-

- K1香我美町岸本1区津波避難タワー
- 収容人員…263人
- 避難階の高さ…3階地上8m、海拔15.7m
最上階地上11m、海拔18.7m

市長談話室

39

香南市の防災①

4月10日(日)、香我美町東川で第32回千舞公園つつじ祭りが行われました。

そして、この日にあわせて、公園内にある忠魂碑前で行われているのが、地域主催の慰霊祭です。

その昔、地区の老人クラブが植えたという「つつじ」。1~3mもある高さの枝には今年も朱色の花がたくさん咲き、川のせせらぎに鳥の鳴き声、自慢すべき原風景に包まれた一日でした。

つつじ祭りと慰霊祭。人が集い、地域をつなぐ「つつじ」は、地域支援のヒントのような気がします。

4月14日に発生した熊本県益城町でのM6.5(震度7)の地震に、16日未明の熊本地方を震源とするM7.3(震度7)の地震、そして度重なる余震の影響で道路や橋の破損、停電に断水、多数の建物の倒壊、土砂災害など、熊本県と大分県を中心に多くの被害が起きています。被害の発生した建物の中には、避難場所として指定されていた施設や体育館、自治体の庁舎、病院、空港、駅舎なども含まれており、耐震対策の必要性を強く感じたところです。

地震において、早い段階で倒壊した家屋の多くは、古い木造住宅や耐震補強のなされていない建物です。南海トラフ地震の規模と揺れの長さは、熊本地震の数倍ともいわれております。ぜひとも、個々の家庭での対策、地域での対策など、できることから取り組んでいただきたいと思います。さて、今月号では順次建設を進めている津波避難タワーについてお伝えします。

津波避難タワーと防災意識の変化

◆津波避難タワー

香南市では、津波浸水地域で高台やビルなどのないところに津波避難タワーを建設しています。全22基のうち昨年度までに12基が完成し、残り

10基についても早期完成を目指し、現在取り組んでいるところです。

◆防災意識の変化

東日本大震災発生後、津波の恐ろ

しさを知るとともに、南海トラフ地震で想定される津波被害の大きさに、誰もが愕然(ごっかん)としました。津波から命を守るためには、一刻も早く、津波の来ない高台へ逃げるのが第一ですが、高台など避難場所のない地域では、「あきらめ」こそ思える言動があったのも事実です。

津波避難タワーの完成は、避難が可能となったことへの安心に繋がり、その安心を確かなものとするため、自治会や自主防災組織がタワーを使った避難訓練などを行っています。

たとえば、昨年度は、吉川町西北津波避難タワーで西北8班が夜間訓練とお月見を、同町清水八反のタワーでは夜間避難訓練など、赤岡町幸のタワーでは炊き出し訓練など、同町松ヶ瀬のタワーでは避難訓練と地域交流会など、夜須町第6地区西部のタワーでは餅つきが行われました。

これからも避難訓練だけでなく、地域の活動の場としてタワーを大いに活用いただきたいと思います。



清藤真司

おすすめの1冊

漂流

吉村 昭 / 著



主人公は「長平」。香南市香我美町岸本に銅像もある「無人島長平」のことです。この本は、一貫して人間と自然の闘いの物語であり、史実として残っている実話でもあります。長平のすさまじい探検の描写に感動。